

2016年2月17日

各 位

会 社 名 横河電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 西島 剛志
コード番号 6841 東証第一部
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション室長 川中 定
Tel 0422-52-5530

英国 KBC 社を完全子会社化するための友好的な買収手続き開始について

当社は、AIM 市場^(注)に上場している英国の石油・ガス産業向けコンサルティング・サービスおよびソフトウェア企業である KBC Advanced Technologies plc（本社：英国ウォルトン・オン・テムズ（サリー州）、CEO：Andrew Howell、以下「KBC 社」と、KBC 社の発行済および発行予定普通株式を英国スキーム・オブ・アレンジメントの手法に基づき現金にて取得し、完全子会社化（以下「本件買収」）する手続きを開始することに合意いたしました。本件買収は友好的なものであり、当社取締役会にて決議され、KBC 社の取締役会においても同社株主に対し本件買収を推奨する旨の決議を行っています。当社は、本件買収について英国においても、同国の公開買付規則に基づく公表を 2016 年 2 月 17 日（現地時間 7 時、日本時間 16 時）に行っています。

なお英国の公開買付規則に基づく開示の詳細（英語）につきましては当社ウェブサイト（<http://www.yokogawa.com/>）よりご参照下さい。

（注）1995 年にロンドン証券取引所により設立された世界最大のベンチャー企業向け取引市場

1. 本件買収提案の背景および戦略的意義

当社は、2015 年 5 月に中期経営計画「Transformation 2017」（以下「TF2017」）を発表し、「お客様フォーカス」、「新しい価値づくり」、「高効率グローバル企業」の 3 つの変革に取り組み、成長基盤の整備と高収益企業へのさらなる成長発展を目指しています。TF2017 では重点施策の一つとして、高度ソリューションビジネスの更なる拡大を掲げており、本件買収は当社の施策に合致するとともに、同施策を実現する上で重要と判断いたしました。

KBC 社は、石油・ガス産業向けに卓越したコンサルティング・サービスやソフトウェアを提供し、プロセス・オートメーションの最適化を実現する代表的な高度ソリューション提供企業です。

KBC 社が有するお客様経営層向けプレミアム・コンサルティング・サービスおよびソフトウェアと、当社の制御機器を始めとする産業オートメーション分野における強みを融合することで、経営レベルから現場レベルまで、多様なお客様に対しワンストップ・ソリューションを提供することが可能となりま

す。また、お客様の資産のライフサイクルにわたり、コンサルティング・サービスや制御機器等を継続的に提供することにより、既存のお客様に加えて新規のお客様にも、技術力ならびに製品イノベーションの強化を通じた新たな付加価値の提供が可能であると考えています。

2. 本件買収の概要

- (1) 買収対象： KBC 社
- (2) 買収手法： 当社が KBC 社の発行済みおよび発行予定株式 100%をスキーム・オブ・アレンジメントの手法に基づき取得予定（詳細につきましては本開示資料「4. 買収手法および手続き」をご参照下さい）
- (3) 取得株式数、取得価額および取得前後の状況

異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%)
異動後の所有株式数	85,837,264 株 (取得する議決権の数：85,837,264 個) (議決権所有割合：100%)
取得価額	KBC 社の普通株式 ^(注1) ：約 180 百万ポンド (約 297 億円) ^(注2) アドバイザー費用等 (概算額)：約 11 億円 取得価額合計 (概算額)：約 308 億円 ^(注2)

- (4) 買収条件： KBC 社普通株式 1 株当たり 210 ペンス
買収プレミアムは、同社の 2016 年 1 月 11 日^(注3) 終値 124 ペンスに対し、約 69% に相当
- (5) 買収資金： 本件買収の資金は、外部からの調達資金により充当する予定
- (6) 完了時期： 2016 年度第 1 四半期中 (2016 年 4 月 - 6 月) の買収完了を予定

注 1 KBC 社経営陣および従業員が保有する潜在株式約 4 百万株を含みます

注 2 1 ポンド=165 円換算

注 3 Aspen Technology, Inc.による KBC 社への友好的な買収提示が公表された前営業日の KBC 社終値

3. KBC 社の特長

KBC 社は、石油・ガス産業向けにソフトウェア及びコンサルティング・サービスを提供し、石油・ガス生産から精製までの一連のプロセス管理やコスト削減業務を主に手掛けています。同社は 1978 年に英国で設立され、AIM 市場に上場しています。

KBC 社は 300 名超の従業員を擁し、英国・米国・シンガポールを主要拠点として事業を営んでいます。また KBC 社は、国営石油会社や国際石油資本、独立系石油会社を始めとするお客様基盤を有し

ています。

同社の収益は主にソフトウェア事業およびコンサルティング事業の 2 つの事業から構成されています。

- コンサルティング事業：プロセス管理やコスト削減に関するコンサルティング・サービス
- ソフトウェア事業：自社技術に基づくプロセス最適化、改善ソフトウェアの提供

4. 買収手法および手続き

本件買収は、英国法に基づくスキーム・オブ・アレンジメント (Scheme of Arrangement) により実施する予定です。スキーム・オブ・アレンジメントとは、KBC 社の推奨の下、同社株主および裁判所の承認を取得することで買収が成立する友好的な買収手法です。(詳細は以下をご参照下さい) なお、2016 年 1 月 12 日付で Aspen Technology, Inc. (本社：米国マサチューセッツ、CEO：Antonio Pietri) が KBC 社を、スキーム・オブ・アレンジメントを通じて子会社化する意向を発表しておりますが、KBC 社取締役会は推奨を変更し、KBC 社株主に対し当社による本件買収を推奨する決議を行っております。

なお当社は KBC 社の主要株主から、合計で同社発行済株式の約 42%分 (KBC 社自己株控除後) につき、本件買収への賛同等についての合意を取得しています。

KBC 社株主の承認決議については、裁判所が招集する株主集会において株主の過半数が承認し、かつ、かかる承認株主の所有に係る議決権数 (価値基準) が、議決権行使総数の 75%以上であることが決議要件となります。本件買収は、KBC 株主の承認ならびに英国司法裁判所の承認を得ることを条件に、2016 年度第 1 四半期中 (2016 年 4 月 - 6 月) に効力が発生することを見込んでいます。手続きの詳細な日程については確定次第、速やかに開示します。

5. 今後の見通し

本件買収による、当社ならびに当社業績への具体的な影響額については、確定次第、公表する予定です。

以上

KBC 社の概要

(1) 名 称	KBC Advanced Technologies plc														
(2) 所 在 地	英国ウォルトン・オン・テムズ (サリー州)														
(3) 代表者の役職・氏名	Andrew Howell, Chief Executive Officer														
(4) 事業内容	石油・ガス産業向けソフトウェアおよびコンサルティング・サービスの提供														
(5) 資本金	2,058 千ポンド / 396 百万円 (2015 年 6 月末) (注1)														
(6) 設立年月日	1978 年														
(7) 上場市場	AIM (ロンドン証券取引所)														
(8) 大株主および持株比率 (2015 年 12 月 31 日現在)	<table border="0"> <tr> <td>Kestrel Partners LLP</td> <td>15.76%</td> </tr> <tr> <td>Coltrane Master Fund, L.P.</td> <td>10.01%</td> </tr> <tr> <td>AXA Investment Managers SA</td> <td>9.97%</td> </tr> <tr> <td>Killik Asset Management</td> <td>4.98%</td> </tr> <tr> <td>Kongsberg Gruppen ASA</td> <td>4.90%</td> </tr> <tr> <td>Hargreave Hale Limited</td> <td>3.64%</td> </tr> </table>			Kestrel Partners LLP	15.76%	Coltrane Master Fund, L.P.	10.01%	AXA Investment Managers SA	9.97%	Killik Asset Management	4.98%	Kongsberg Gruppen ASA	4.90%	Hargreave Hale Limited	3.64%
Kestrel Partners LLP	15.76%														
Coltrane Master Fund, L.P.	10.01%														
AXA Investment Managers SA	9.97%														
Killik Asset Management	4.98%														
Kongsberg Gruppen ASA	4.90%														
Hargreave Hale Limited	3.64%														
(9) 当社との関係	該当ありません														
(10) 最近 3 年間の経営成績および財政状態 (上段: ポンド / 下段: 日本円)															
決算期	2012 年 12 月期	2013 年 12 月期	2014 年 12 月期												
連結純資産(注2)	31,367 千ポンド 4,410 百万円	36,516 千ポンド 6,361 百万円	66,269 千ポンド 12,373 百万円												
連結総資産(注2)	67,983 千ポンド 9,557 百万円	60,294 千ポンド 10,503 百万円	92,182 千ポンド 17,212 百万円												
1 株当たり連結純資産(注2)	53.3 ペンス 75.0 円	61.7 ペンス 107.5 円	81.1 ペンス 151.4 円												
連結売上高(注3)	63,140 千ポンド 7,986 百万円	65,080 千ポンド 9,939 百万円	75,954 千ポンド 13,232 百万円												
連結営業利益(注3)	3,860 千ポンド 488 百万円	7,389 千ポンド 1,128 百万円	7,163 千ポンド 1,248 百万円												
親会社株主に帰属する 当期純利益(注3)	- 1,646 千ポンド - 208 百万円	5,537 千ポンド 846 百万円	4,079 千ポンド 711 百万円												
1 株当たり連結当期純利益(注3)	- 2.9 ペンス - 3.7 円	9.5 ペンス 14.5 円	5.7 ペンス 10.0 円												
1 株当たり配当金(注2)	1.5 ペンス 2.0 円	0 ペンス 0 円	1.0 ペンス 1.8 円												

注1 2015 年 6 月末時点における為替レートを適用

注2 各期における期末時点の為替レートを適用

注3 各期における為替レートの平均値を適用

将来の見通しに関する記載

本開示資料には、将来の見通しに関する記載が含まれています。「目標とされている」、「考えられている」、「期待されている」、「予期されている」、「意図されている」、「予定されている」、「評価されている」、「目指されている」、「するだろう」、「可能性がある」、「予見されている」、「計画されている」およびこれらに類する表現を用いた記載（その反対の意味の記載を含みます。また、これらの記載に限られません。）は全て、将来の見通しに関する記載です。将来の見通しに関する記載には、以下のものが含まれます：本件買収により横河電機にもたらされる期待利益に関する記載、本件買収の背景および理由、横河電機又は KBC 社の今後の見通しに関する情報および将来の資本支出、経費、収益、利益、シナジー、経済性および将来性。将来の見通しに関する記載は、その性質からして、リスクや不確実性を含んでおり、それらのリスクや不確実性は、予期される結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。また、そのようなリスクや不確実性は、一定の重要な前提に依拠しています。これら多くの要因は、実際の結果と、将来の見通しに関する記載において推定され又は示唆された内容（KBC 社の横河電機との統合の成功に関するリスクを含みます：KBC 社との統合に関して想定されていた費用の増加、期待された利益を得るための投資の必要、横河電機に明らかにならなかった、本件買収によって実現される利益のタイミングおよび額に影響を与える KBC 社に関連する事実等。）との間に、重大な乖離をもたらす可能性があります。横河電機は、将来の見通しに関する記載についての KBC 社の期待の変化若しくは本資料開示日以降に発生した、将来の見通しに関する記載が前提としている出来事、条件若しくは状況の変更を反映した将来の見通しに関する記載の更新若しくは変更を公表すること又は本開示資料に含まれるその他の情報を最新のものに保つことについて、義務を負い又は保証を行うことを明示的に否認します。そのため、本資料開示日において記載されたものに過ぎない将来の見通しに関する記載を過度に信用すべきではありません。